

急整備支援事業の皆増などにより、3億9,014万299円の増となりました。

258ページをお開き願います。9款消防費は、支出済額6億5,288万3,315円で前年度対比8.1%の増、歳出総額に占める構成比率は4.3%となりました。主なものとしましては、260ページになりますが、1項4目防災費で備考欄の001防災対策事業における山形県防災行政通信ネットワーク再整備工事負担金の支出などがございました。

262ページをお開き願います。10款教育費は、支出済額16億5,865万4,234円で前年度対比28.2%の増、歳出総額に占める構成比率は11.0%となりました。268ページをお開き願います。2項小学校費は、支出済額6億7,296万3,667円で前年度対比65.1%の増となりました。主なものとしましては、1目学校管理費の、275ページになりますが、備考欄の021小学校施設環境改善事業が平野小大規模改修工事や長井小、致芳小及び伊佐沢小の空調設備設置工事を実施したことなどによりまして、2億9,974万7,520円の増となりました。276ページをお開き願います。3項中学校費は、支出済額2億2,870万4,304円で、279ページになりますが、備考欄の017中学校施設環境改善事業が皆増となったことなどによりまして、前年度対比81.4%の増となりました。280ページをお開き願います。4項社会教育費は、支出済額4億328万2,271円で、少し飛びまして296ページになりますが、9目歴史的建造物利活用推進費が皆増となったことなどにより、前年度対比5.9%の増となりました。298ページをお開き願います。5項保健体育費は、支出済額2億313万5,170円で、300ページになりますが、2目体育施設費の備考欄002市営スキー場管理運営事業における備品購入費の減などにより、前年度対比10.2%の減となりました。

306ページをお開き願います。11款災害復旧

費は、平成28年度における支出はございませんでした。

次に、12款公債費は、支出済額10億1,423万1,193円で前年度対比0.1%の減、歳出総額に占める構成比率は6.7%となりました。

13款予備費は、議決予算額2,000万円のうち1,603万7,032円を各款の緊急を要する経費に充用いたしております。

308ページをお開き願います。以上で歳出合計は151億1,251万1,436円となり、前年度対比13.0%、17億4,116万3,606円の増となりました。

続きまして、実質収支に関する調書についてご説明申し上げますので、427ページをお開き願います。平成28年度長井市一般会計分でございますが、区分1の歳入総額は155億9,013万2,812円、2の歳出総額は151億1,251万1,436円。この結果、3の歳入歳出差引額は4億7,762万1,376円となりました。また、5の実質収支額は、4の翌年度へ繰り越すべき財源1,234万5,040円を差し引きました4億6,527万6,336円となりました。

以上が平成28年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○小関秀一委員長 次に、認第1号の平成28年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成28年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について説明を求めます。

佐藤 隆市民課長。

○佐藤 隆市民課長 おはようございます。

平成28年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要をご説明いたします。

事項別明細書によりご説明申し上げますので、歳入歳出決算書の312ページをお開きください。歳入からご説明いたします。

1款国民健康保険税は、調定額6億6,938万9,269円に対しまして、収入済額は前年度対比1.2%減の5億7,695万781円となっております。

調定額のうち3,669万6,000円を不納欠損処分し、収入未済額は5,574万2,488円となりました。

314ページをお開きください。2款一部負担金は、前年度同様、収入がございませんでした。

3款使用料及び手数料の収入済額は、37万150円となりました。

4款国庫支出金の収入済額は、前年度対比10.6%減の5億7,747万440円となりました。そのうち1項1目の療養給付費等負担金が3億9,924万7,283円、1項2目の高額医療費共同事業負担金は1,779万157円です。316ページをお開きください。3目の特定健康診査等負担金は355万3,000円で行いました。2項国庫補助金は、1目の財政調整交付金1億5,614万7,000円などで、前年度対比16.5%減の1億5,688万円となりました。

5款療養給付費交付金の収入済額は、前年度対比14.6%減の1億566万7,832円で、1目の療養給付費交付金が7,123万7,433円、2目の退職被保険者に係る交付金が3,443万399円となりました。

6款前期高齢者交付金の収入済額は、前年度対比8.1%増の6億1,854万5,190円となりました。

318ページをお開きください。7款県支出金の収入済額は、前年度対比12.7%増の1億5,674万3,157円で、1項県負担金は、1目の高額医療費共同事業負担金が1,779万157円で、2目の特定健康診査等負担金が340万2,000円で、1項合計では前年度対比33.3%増の2,119万2,157円で、2項県補助金は前年度対比10%増の1億3,555万1,000円となりました。

8款共同事業交付金の収入済額は、前年度対比4.4%減の6億2,411万9,944円となりました。

9款財産収入の収入済額は、18万5,958円となりました。

320ページをお開きください。10款繰入金の収入済額は、前年度対比12%減の1億5,851万

5,159円となりました。1項1目1節の一般会計繰入金は、収入済額2,605万1,785円で、その内訳は、出産育児一時金分が336万円、財政安定化支援分が631万円、事務費分が798万4,041円、国庫補助減額分が839万7,744円です。2節の保険基盤安定繰入金は、収入済額1億3,246万3,374円となりました。2項基金繰入金はございません。

11款繰越金の収入済額は、前年度対比30%減の8,641万953円です。

12款諸収入の収入済額は、3項5目雑入に国保連合会預託金返還分730万2,000円の収入等により、前年度対比48.7%増の1,598万950円となりました。

322ページをお開きください。以上によりまして、歳入合計では、調定額30億1,346万6,727円に対しまして、収入済額は前年度対比3.7%減の29億2,096万514円で、収入率は96.9%、調定額のうち3,669万6,000円を不納欠損処分し、収入未済額は5,581万213円となりました。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。

324ページをお開きください。1款総務費の支出済額は、前年度対比8.5%減の1,654万3,085円で、不用額は138万7,915円となりました。1項総務管理費の支出済額は、前年度対比1.2%増の1,486万82円。うち1目一般管理費が1,294万4,504円、2目連合会負担金が191万5,578円となりました。2項徴税費は51.9%減の149万1,382円、3項運営協議会費は12万935円です。326ページをお開きください。4項趣旨普及費は7万686円です。

2款保険給付費の支出済額は、前年度対比5.1%減の16億5,473万8,978円で、不用額は1億1,242万1,022円となりました。1項療養諸費は、1目一般被保険者療養給付費が13億6,456万9,417円、2目退職被保険者等療養給付費が7,453万8,369円で、3目、4目、5目を合わせた1項全体の合計では5.1%減の14億5,619万

7,308円となりました。2項高額療養費は、前年度対比3%減の1億9,220万1,670円となりました。328ページをお開きください。3項移送費の支出はございません。4項出産育児諸費は12件ございまして、40%減の504万円です。5項葬祭諸費は26件ございまして、35%減の130万円となりました。

3款後期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比8.4%減の3億1,254万6,579円となりました。

330ページをお開きください。4款前期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比3.5%減の22万1,946円となっております。65歳以上75歳未満の加入者に係る保険給付費に関しまして、各保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均等を調整するための負担でございます。

5款老人保健拠出金の支出済額は、1万1,515円です。

6款介護納付金の支出済額は、前年度対比13.3%減の1億2,363万4,765円です。

332ページをお開きください。7款共同事業拠出金の支出済額は、前年度対比3.1%増の6億7,011万8,140円となりました。

8款保健事業費の支出済額は、前年度対比12.9%増の2,738万2,381円となりました。1項特定健康診査等事業費は、40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者に係る特定健康診査等の事業費を一般会計に繰り出すもので、1,278万3,535円ございました。2項保健事業費は、健診や医療費通知などの事業費で1,459万8,846円となりました。

334ページをお開きください。9款基金積立金の支出はございませんでした。

10款諸支出金の支出済額は、1,078万3,491円となりました。

11款予備費からの支出はございませんでした。

336ページをお開きください。以上によりまして、歳出合計では、予算現額29億4,541万

3,000円に對しまして、支出済額は前年度対比4.4%減の28億1,598万880円で、予算執行率は95.6%、不用額は1億2,943万2,120円となりました。

歳入合計の収入済額29億2,096万514円から歳出合計の支出済額28億1,598万880円を差し引いた残額1億497万9,634円を翌年度に繰り越させていただくものとするものでございます。

続きまして、平成28年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明を申し上げますので、412ページをお開きください。

まず、歳入についてご説明申し上げます。

1款後期高齢者医療保険料は、調定額2億581万3,420円に對しまして、収入済額は前年度対比12.5%増の2億383万2,610円で、収納率は99%となりました。調定額のうち24万500円を不納欠損処分し、収入未済額は178万3,910円となりました。

2款使用料及び手数料の収入済額は5万3,700円です。

3款繰入金の収入済額は、前年度対比2.4%増の1億1,220万903円で、1目の事務費繰入金が1,897万5,404円、2目の一般会計繰入金が9,322万5,499円となりました。

4款繰越金の収入済額は、前年度対比14.7%減の460万4,603円、5款諸収入の収入済額は8万7,600円となりました。

414ページをお開きください。以上により、収入合計では、調定額3億2,276万226円に對し、収入済額は前年度対比8.2%増の3億2,077万9,416円で、収入率は99.4%、調定額のうち24万500円を不納欠損処分し、収入未済額は178万3,910円となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

416ページをお開きください。1款総務費の支出済額は、前年度対比1%増の500万1,547円で、不用額は34万453円となりました。1項総務管理費の支出済額は41万2,258円で、2項徴

収費は458万9,289円となりました。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、支出済額につきましては、保険料負担金が2億262万980円、保険基盤安定制度負担金が9,322万5,499円、事務費負担金が1,402万8,857円で、合計では前年度対比8%増の3億987万5,336円となりました。

3 款諸支出金の支出済額は7万9,300円となりました。

418ページをお開きください。以上によりまして、歳出合計では、予算現額3億1,636万5,000円に対しまして、支出済額は前年度対比8%増の3億1,495万6,183円で、予算執行率は99.6%、不用額は140万8,817円となりました。

歳入合計の収入済額3億2,077万9,416円から歳出合計の支出済額3億1,495万6,183円を差し引いた残額582万3,233円を翌年度に繰り越させていただくものでございます。

以上でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○小関秀一委員長 それでは、次に、認第1号平成28年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算、及び平成28年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算、並びに平成28年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について、鈴木嗣郎上下水道課長。

○鈴木嗣郎上下水道課長 それでは、平成28年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算についてご説明を申し上げます。

まず、決算書の26、27ページをごらんください。歳入の収入済額の合計は前年度に比べ0.5%減少し、529万9,529円減少し、11億284万2,337円でございます。

歳出は、支出済額の合計が前年度に比べ0.6%、633万8,096円減少し、11億122万196円となりました。

差し引きの残額でございますが、30ページをごらんいただきましたとおり、162万2,141円を

29年度に繰り越してございます。このうち105万円につきましては、繰越明許費に係る繰越額でございます。

次に、事項別明細書は340ページからでございます。

まず、歳入の1 款分担金及び負担金でございますが、支出済額の合計が680万8,810円でございます。前年度に比べて23.3%減少してございます。主なものは、1 項2 目の下水道受益者負担金の現年度分でございます。583万7,910円となっております。

2 款の使用料及び手数料の支出済額の合計は、昨年度から1.9%減少し、3億677万453円でございます。このうち主なものにつきましては、1 項1 目の下水道使用料、特に現年度分3億378万378円、こちらは0.9%減少してございます。収納率は98.8%ございました。2 節の滞納繰越分におきまして、19件、90万49円を不納欠損処分してございます。

3 款国庫支出金の支出済額の合計は、前年度から371.8%増加し、5,419万2,000円ございました。内容につきましては、1 項1 目の備考欄、社会資本整備総合交付金及び防災・安全社会資本整備交付金の増加によるものでございます。

4 款繰入金の支出済額の合計は、前年度から1.2%減少し、6億9,165万円ございました。一般会計の繰入金でございます。

5 款繰越金につきましては、2.5%減少し、58万3,574円ございました。

次のページですが、6 款諸収入は、昨年度から31.8%減少し、13万7,500円ございました。

7 款市債につきましては、昨年度から42.8%減少し、4,270万円ございました。

続いて、344、345ページでございますが、歳出でございます。

1 款公共下水道事業費の支出済額の合計は、前年度に比べ38.1%増加し、2億8,820万3,376

円で行っていました。内容につきましては、1項1目公共下水道総務費は3.2%の減少、2目公共下水道事業費につきましては136.9%の増加でございます。内容につきましては、347ページの13節委託料、この部分が増加しております。内容につきましては、備考欄の3行目、委託料から下の3行目、複写機使用料の上までに明細を記載してございます。ごらんいただきたいと思っております。3目の管渠管理費につきましては、前年度から49.7%の増加でございます。主な内容は、15節工事請負費のところでございますが、001管渠管理事業の中段から下、緑町、横町、館町南におけます汚水管路の布設工事が主な内容でございます。4目管理センター費でございますが、前年度から4.5%減少してございます。主なところは、11節需用費、13節委託料というような内容になってございます。

2款公債費につきましては、支出済額の合計が8億1,301万6,820円、前年度から9.6%減少してございます。

以上、平成28年度長井市公共下水道事業特別会計の歳入歳出決算の概要について説明申し上げます。

申しわけありませんが、38ページまで戻っていただきたいと思っております。平成28年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入の支出済額の合計は、前年度から1,003万3,093円増加しております。6.4%です。1億6,566万2,999円となりました。

次のページでございますが、歳出の支出済額の合計は、前年度から1,004万7,115円、6.5%増加し、1億6,515万3,557円で行いました。

その結果、次のページでございますが、歳入歳出差引残額は50万9,442円となりまして、平成29年度に繰り越してございます。

事項別明細書は、また飛びますが、358ページからでございます。

まず、歳入の1款分担金及び負担金でございますが、収入済額の合計は18万円で行いまして、前年度に比べ45.5%減少しております。加入の件数が減った分でございます。

2款の使用料及び手数料の支出済額の合計は、前年度から3%減少し、5,164万535円で行いました。主な内容は、1項1目施設使用料の現年度分で行いまして、ここは5,132万6,682円で2.5%減少してございます。収納率は99.1%で行いました。また、滞納繰越分におきまして、3件、4万2,210円の不納欠損処分を行ってございます。

3款繰入金につきましては、収入済額の合計が11.6%増加いたしまして1億1,331万円で行いました。全て一般会計の繰入金でございます。

4款繰越金につきましては、1.2%減少の52万3,464円でございます。

それから、5款諸収入の収入実績はございませんでした。

以上が収入で行いまして、362ページ、363ページ、歳出でございます。

1款農業集落排水事業費につきましては、支出済額の合計が前年度に比べ21.4%増加し、5,790万170円で行いました。内訳につきましては、1項1目の農業集落排水事業総務費が2.2%の減少、2目の今泉排水施設運営費につきましては41.1%の増加でございます。内容につきましては、13節委託料の備考欄の下から5行目、農業集落排水施設台帳整備業務委託料、この部分が皆増となっております。次のページ、3目大久保排水施設運営費につきましては21.2%の増加でございます。ここも13節委託料備考欄の002の上の3行、農業集落排水施設台帳整備業務委託料のところ皆増となっております。

2款公債費につきましては、前年度に比べ0.1%減少し、1億725万3,387円で行いまし

た。

以上が平成28年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算についてのご説明でございます。

また恐れ入りますが、56ページ、57ページまでお戻りいただきたいと思っております。平成28年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入の収入済額につきましては、前年度から1,102万9,169円、9.3%増加し、1億2,935万1,352円でございます。

次のページ、歳出の支出済額の合計は、前年度から1,102万2,114円、9.4%増加し、1億2,883万2,443円でございます。

次のページが歳入歳出の差引残額でございますが、51万8,909円を平成29年度に繰り越してございます。

事項別明細書は402ページからでございます。

歳入の1款分担金及び負担金の支出済額の合計は、前年度に比べ13.2%増加し、994万円でございます。昨年度は53件の新設でしたが、平成28年度は61件の新設がございました。使用料及び手数料のところは、収入済額の合計が9.7%増加し、3,811万435円でございます。主な内容は、1項1目浄化槽使用料の現年度分3,807万9,685円でございます。収納率は99.8%ございました。

3款国庫支出金の支出済額は70.7%増加し、2,858万6,000円でございます。主な内容は、1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金のところですが、備考欄、循環型社会形成推進交付金、ここの部分の補助率が、平成27年度の整備におきまして単独槽から合併槽に切りかえた新設の基数の割合が10%未満であったために3分の1でございましたが、平成28年度は基準を超えたことによりまして2分の1に上昇なったということでの増加でございます。

4款県支出金につきましては、10.7%減少し、

216万円でございます。

5款繰入金につきましては、9.6%減少し、1,522万円でございます。

次のページ、6款繰越金の収入済額の合計は、前年度に比べ2.1%増加し、51万1,854円でございます。

7款諸収入は、収入済額の合計が222万3,063円で12.1%の増加でございますが、これは3項1目の消費税の還付によるものでございます。

8款市債の収入済額の合計は10.3%減少し、3,260万円でございます。

以上、歳入でございます。

次のページ、歳出でございますが、1款浄化槽事業費の支出済額の合計は、前年度に比べ9.8%増加し、1億1,483万7,995円でございます。内容につきましては、1項1目の浄化槽事業総務費が3.2%の増加、ここは13節委託料003浄化槽管理費の部分が、毎年基数がふえてございますので増加しております。2目の浄化槽事業費につきましては13.3%の増加でございます。こちらは15節工事請負費のところ、平成27年度から28年度、8基増加しております、その分の増加でございます。

2款公債費の支出済額の合計は6.1%増加し、1,399万4,448円でございます。

以上が農業集落排水のほうの歳出でございます。

以上、上下水道課所管の3特別会計の決算について概要を説明させていただきました。ご審査のほどよろしくお願いいたします。

○小関秀一委員長 続きまして、認第1号の平成28年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について、小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 平成28年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

なお、平成28年度からの山形鉄道運営助成に

つきましては、上下分離方式を導入したことにより、これまでの当該年度の損失額に相当する額の補助から、鉄道施設等の更新、整備、修繕及び維持管理に係る経費を補助することとなりました。

それでは、決算書の32ページをごらんください。歳入でございますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、諸収入で、前年度比47.4%増の2億1,514万9,713円となりました。調定額、収入済額は同額でございます。

続いて、34ページの歳出をごらんください。山形鉄道助成費及び基金積立金合計で、支出済額は収入済額と同額の2億1,514万9,713円となっております。

続きまして、事項別明細書によりご説明いたしますので、352ページをごらんください。

歳入についてご説明申し上げます。

1款1項1目山形鉄道運営助成費負担金は、予算現額6,157万2,000円で、収入済額も同額でございます。長井市を除く県、1市2町の負担金で、前年度と同額でございます。

次に、2款1項1目利子及び配当金は、予算現額10万円に対し、収入済額1万9,713円で、基金の利子でございます。

続きまして、3款1項1目一般会計繰入金は、予算現額2,242万8,000円で、収入済額も同額でございます。これは長井市の運営負担分で、金額につきましては前年度同額でございます。同じく3款2項1目基金繰入金でございますが、当初予算8,400万円に、助成基金補助金不足額として2,033万円を基金から繰り出しまして、予算現額は1億433万円となり、収入済額も同額でございます。

次に、4款1項1目雑入でございますが、予算現額2,680万円に対し、収入済額同額でございます。これは前年度山形鉄道運営助成基金補助金の確定による返納金でございます。

続きまして、354ページをごらんください。

歳出でございます。

1款1項1目の運営助成費でございますが、長井市山形鉄道運営助成基金補助金として、当初予算8,400万円に2,033万円を増額補正し、予算現額1億433万円で、支出済額は予算同額でございます。

次に、2款1項1目基金積立金ですが、当初予算8,410万円に2,680万円を補正し、予算現額1億1,090万円となっております。支出済額は1億1,081万9,713円で、基金に積み立てをしております。

以上が山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○小関秀一委員長 次に、認第1号の平成28年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について、手塚慶一健康課長。

○手塚慶一健康課長 平成28年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書44ページをお開きください。

初めに歳入でございますが、収入済額合計は、前年度比28万210円、1.2%減の2,324万3,009円でございます。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

次に、46ページをお開きください。

歳出といたしましては、事業費としての支出済額が前年度比28万534円、1.2%減の2,314万2,419円でございます。

48ページになりますが、歳入歳出の差引残額10万590円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。

368ページをお開きください。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,242万1,357円ござい

まして、前年度に比べ99万996円、8.7%の増となりました。内訳といたしましては、介護保険分789万3,307円、医療保険分452万8,050円でございます。訪問延べ回数は1,494回で、前年度に比べ83回、6%の増となりました。

2款1項1目利用料は、収入済額120万1,984円でございます。内訳は、介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。こちらは前年度に比べ6,132円、0.5%の増でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、収入済額947万5,000円で、前年度に比べ120万4,000円、11.3%の減でございます。

4款1項1目繰越金は10万266円でございます。

5款諸収入、1項1目雑入は4万4,402円でございます。国保協力金、自動車損害共済金でございます。

次に、細目についてご説明申し上げます。370ページをお開きください。

1款1項事業費、1目訪問看護事業費、支出済額2,314万2,419円の内訳は、2節、3節、4節につきましては、職員の給料、職員手当費、共済費でございます。7節賃金400万3,131円は、定時補助職員及びパート看護師3名の雇い上げ賃金でございます。9節旅費6,000円は、職員の出張旅費でございます。11節需用費28万8,461円は、消耗品費、修繕料、燃料費、医薬材料費でございます。12節役務費35万9,869円は、電話料、衣服クリーニング等手数料、保険料でございます。14節使用料及び賃借料67万6,512円は、訪問看護支援ソフトのリース料及び自動車のリース料でございます。19節負担金補助及び交付金1万2,000円は、訪問看護ステーション連絡協議会の年会費と研修会の負担金でございます。22節補填補償及び賠償金3,240円は、訪問看護事業における物損事故による損害賠償金でございます。

以上、平成28年度長井市訪問看護事業特別会

計歳入歳出決算の概要につきまして説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○小関秀一委員長 続きまして、認第1号の平成28年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について、高橋正典福祉あんしん課長。

○高橋正典福祉あんしん課長 平成28年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明を申し上げます。歳入歳出決算書の50ページをお開き願います。

歳入合計は、調定額30億9,403万3,299円に対し、収入済額は前年度対比3.8%増の30億8,647万3,107円で、収入率は99.8%、予算現額に対し3,346万9,893円の減となりました。

続きまして、52ページをお開きください。

歳出合計額は、予算現額31億1,994万3,000円に対し、支出済額が前年度対比2.1%増の29億6,711万3,326円で、不用額は1億5,282万9,674円、予算執行率は95.1%となりました。

歳入合計額30億8,647万3,107円から歳出合計額29億6,711万3,326円を差し引いた1億1,935万9,781円を翌年度に繰り越しをさせていただくものでございます。

続きまして、374ページ、事項別明細書をごらんいただきたいというふうに思います。

1款1項介護保険料は、収入済額が前年度対比2.9%増の6億6万1,020円となり、第1号被保険者の保険料でございます。

2款1項手数料は、収入済額が前年度対比1.4%増で10万9,967円となり、介護保険料の督促手数料です。

3款1項国庫負担金は、収入済額は前年度対比4.5%増で5億350万1,986円となり、介護給付費負担金です。続きまして、376ページをお開きください。ページまたいで、ちょっと見づらいいんですが、2項国庫補助金は、1目調整交付金が2億54万6,000円、2目地域支援事業交付金が7,735万8,293円。続きまして、3目介護

保険事業費補助金は33万円、4目介護保険災害臨時特例補助金が18万5,000円で、2項合計では、前年度対比18.9%増で2億7,841万9,293円となりました。

4款1項支払基金交付金は、合計で収入済額が前年度対比3.4%増で8億1,383万154円となりました。

5款1項県負担金は、収入済額が前年度対比0.7%増で4億46万7,120円となり、介護給付費負担金です。2項県補助金は、前年度対比18.7%増で2,661万8,328円となり、地域支援事業交付金です。

6款1項財産運用収入は、収入済額が前年度対比3.5%減で14万9,745円となり、基金積立金利子収入です。

続きまして、378ページをお開きください。7款、合計で収入済額が前年度対比1.5%増で3億9,538万2,026円となりました。2項の基金繰入金はございません。

8款1項繰越金は、収入済額が前年度対比29.8%増で5,948万3,559円となりました。

9款1項延滞金、加算金及び過料は、収入済額が前年度対比28%減で5万300円となり、第1号被保険者の介護保険料の延滞金になります。380ページをごらんください。2項雑入は、収入済額が前年度対比11.6%増で839万9,609円となり、地域支援事業利用者負担金等でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

382ページをお開きください。1款1項総務管理費は、支出済額が前年度対比17.6%減で1,071万256円となり、2項徴収費は、支出済額が前年度対比6%増で110万849円となりました。3項介護認定審査会費は、支出済額が前年度対比4.5%減で1,939万949円でございます。続きまして、384ページ、お開きください。4項趣旨普及費は、支出済額が前年度対比の61.8%増で14万6,556円となりました。5項高齢者福祉

推進会議費は、支出済額が前年度対比50.7%減で6万1,200円となりました。

2款1項介護サービス等諸費は、支出済額が前年度対比1%増で25億1,217万4,734円となり、要介護認定者を対象とした介護サービス等給付費でございます。386ページをごらんください。2項介護予防サービス等諸費は、支出済額が前年度対比6.4%減で4,958万5,433円となり、要支援認定者を対象とした介護予防サービス給付費でございます。3項その他諸費は、支出済額が前年度対比0.9%減で267万2,611円となり、審査支払手数料でございます。4項高額介護サービス等費は、支出済額が前年度対比5.5%増で4,688万3,546円となり、利用者負担が著しく高額になった場合の負担を軽減する保険給付であります。5項高額医療合算介護サービス等費は、支出済額は前年度対比17.6%増で662万7,605円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものであります。388ページをごらんください。6項特別短期入所サービス費は、支出はございません。7項特定入所者介護サービス等費は、支出済額が前年度対比5.2%増で1億1,533万39円となり、施設サービス利用者利用時の居住費、食費負担等低所得者の軽減分を補填するための給付でございます。

3款1項介護予防・生活支援サービス事業費は、支出済額が前年度対比4.9%増で9,190万7,679円となり、要支援1、2、または同程度の高齢者を支援する事業でございます。390ページをごらんください。2項一般介護予防事業費は、支出済額が前年度対比1.6%減で3,686万2,136円となり、一般高齢者を対象とした事業でございます。392ページをごらんください。3項包括的支援事業・任意事業費は、支出済額が前年度対比51.4%増で5,321万7,384円、高齢者とその家族、関係機関の相互相談事業でございます。396ページをごらんください。4項そ

の他諸費は、支出済額が前年度対比0.9%減で17万8,098円となり、審査支払手数料でございます。

4款1項基金積立金は、支出済額が前年度対比3.5%減で14万9,745円となり、介護給付費準備基金積立金でございます。

398ページをごらんください。5款1項償還金及び還付加算金は、支出済額が前年度対比の148.5%で2,011万4,506円となりました。

6款予備費の支出はありませんでした。

以上、平成28年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○小関秀一委員長 次に、認第1号の平成28年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について、多田茂之建設課長。

○多田茂之建設課長 平成28年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

68ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は、前年度対比1,789万9,011円の減、79.4%減の465万5,488円となり、調定額と同様となっております。

70ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は、宅地開発事業費、公債費の減額により、前年度対比1,761万1,014円の減、79.1%減の465万5,488円となりました。予算現額に対する執行率は86.2%となっております。

72ページをお開き願います。歳入歳出差引残額はございません。

それでは、事項別明細書によりご説明を申し上げます。422ページをお開き願います。歳入につきましては、1款事業収入、1項1目宅地売払収入は皆減でございます。

2款財産収入、1項1目利子及び配当金は630円、3款繰越金、1項1目繰越金は28万

7,997円、4款繰入金、1項1目宅地開発基金繰入金は436万6,861円でございます。

続きまして、424ページをお開き願います。歳出につきましてご説明を申し上げます。

1款1項1目宅地開発総務管理費につきましては、37万9,143円で、報償費、手数料、宅地開発基金積立金でございます。

2款1項公債費につきましては、427万6,345円で、1目元金は長期債償還元金で426万8,000円、2目利子は長期債利子の8,345円でございます。

以上、平成28年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定について

議案第68号 平成28年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○小関秀一委員長 次に、認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定について、及び議案第68号 平成28年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての2件について、鈴木嗣郎上下水道課長。

○鈴木嗣郎上下水道課長 それでは、認第2号 平成28年度長井市水道事業会計決算認定についてご説明を申し上げます。

決算書の449ページをお開きいただきたいと思っております。A4判、横になってございますので、今後、ページにつきましては水道のページで申し上げさせていただきたいというふうに思います。

まず、水道の1ページ、決算報告書でございますが、こちらは税込みで作成してございます。

まず、(1)の収益的収入及び支出のところでございますが、収入は、第1款水道事業収益につきましては、決算額が7億1,035万2,066円でございます。支出につきましては、第1款水道事業費用決算額は6億5,502万748円でございます。

次のページ、(2)資本的収入及び支出でございますが、収入は、第1款の資本的収入決算額は6,186万9,480円でございます。支出は、第1款資本的支出決算額は4億567万7,500円でございます。

下の外に書いてある文章ですが、資本的収入と資本的支出の差額、不足額でございますけれども、3億4,380万8,020円出てございますが、こちらにつきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額994万4,843円と、過年度分損益勘定留保資金1億5,605万3,272円と、当年度分損益勘定留保資金1億7,780万9,905円で補填してございます。

水道の4ページから5ページ、損益計算書でございます。ここからは税抜きで表記となっております。

まず、営業利益は、給水収益から(4)のその他営業収益まで、合計しまして、昨年度から0.9%減少して6億1,211万3,153円となっております。給水収益につきましては、ほぼ前年度と同額を確保し、加入金、受託工事収益が減少、その他営業収益が若干増加してございます。

営業費用につきましては、(1)浄水及び配給水費から資産減耗費まで、合わせまして5億1,913万725円で1.1%の増加でございます。浄水及び配給水費におきまして増加しておりますが、その他の費目は減少してございました。

営業収益と営業費用を差し引きました営業利益は、昨年度から10.7%減少し、9,298万2,428円でございます。これに営業外収益と営業外費用を合わせました経常利益につきましては、昨年度から11.4%減少し、4,781万5,902円でご

ございました。

さらに、特別利益、特別損失を合わせました当年度の純利益につきましては、昨年度から16.2%減少し、4,521万9,330円ございました。

この結果、当年度末の当年度の未処分利益剰余金は3億8,955万1,612円となっております。

次のページをごらんください。平成28年度長井市水道事業剰余金計算書でございますが、こちらは資本金、剰余金のうち増減額をあらわす表でございますが、ただいま申し上げた当年度の純利益、下から2行目の欄で右から3番目の欄の金額が増加しているという表でございます。

次に、水道の7ページから9ページまで、貸借対照表でございます。こちらにも税抜きで表記となっております。

まず、資産の部でございますが、固定資産は、有形固定資産、無形固定資産、投資を合わせまして、合計で67億7,230万5,433円ございました。減価償却等によりまして、前年度から1億7,081万9,160円減少しております。

次のページは、流動資産でございますが、合計が855万2,515円増加いたしまして、6億4,532万1,123円となっております。

固定資産と流動資産を合わせた資産の合計は、前年度から1億6,226万6,645円減少して74億1,762万6,556円となっております。

これに対応する負債と資本でございますが、まず、負債の部は、固定負債が合計で1億9,838万8,176円減少し、36億5,796万9,049円となりました。流動負債につきましては、(1)の企業債から引当金まで合計いたしまして、流動負債の合計は3,364万627円増加し、3億3,696万8,656円でございます。繰延収益につきましては、4,273万8,426円減少いたしまして、12億2,476万5,720円ございました。

固定負債、流動負債、繰延収益を合わせた負債の合計は、2億748万5,975円減少し、52億1,970万3,425円ございました。

資本の部につきましては、資本金、それから剰余金の資本剰余金につきましては変動はなく、前年度と同額でございます。利益剰余金は当年度未処分利益剰余金のところだけ増加いたしまして、利益剰余金の合計が4,521万9,330円増加し、4億6,685万1,612円でございます。

剰余金の合計が14億3,393万4,893円、資本合計が21億9,792万3,131円で、資本金、剰余金を合わせました資本の合計につきましては21億…。ああ、読み間違えました。剰余金の合計は、(1)資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせたもので、先ほど申し上げました資本の合計は、先ほどこれも申し上げておりますが、21億9,792万3,131円でございます。申しわけございません。

負債と資本を合わせた合計につきましては、74億1,762万6,556円で、資産の合計と一致してございます。

続いて、決算附属資料のうち、ご説明すべきところについて説明させていただきます。

水道の15ページでございます。平成28年度に行いました工事関係についてご説明申し上げます。

建設改良工事の概要ということで、主なものは、配水施設整備費ということで、配水管の布設替を行ってございます。公共施設整備に伴うものが1件と、県道改良に伴うものが3件、市道に係るものが4件でございました。このほか消火栓2基設置してございます。

水道の18ページまで進んでいただきますと、その他の資産購入というところでございますが、機械及び装置につきまして、時庭中継ポンプ場と平野浄水場の機械、装置を更新してございます。このほか量水器を100台更新、それから車両についても1台更新してございます。

それから、さらに進んでいただきまして、水道の36ページをごらんいただきたいと思います。平成28年度長井市水道事業会計キャッシュフロ

ー計算書というものでございますが、これは先ほどの損益計算書と貸借対照をつなぐというような意味合いで、平成26年度から添付が義務づけられてございます。

一番下の資金の期末残高と申しますのが、先ほど貸借対照表でご説明申し上げました流動資産のうち現金及び預金に相当するものでございます。現金、預金がそれぞれ業務活動、投資活動、財務活動によってどれぐらい変動しているかというものをあらわしたものでございまして、業務活動によって3億4,027万142円を生み出し、投資活動によって1億4,225万830円を費やし、さらに財務活動によって1億9,157万2,822円を消費してございます。その結果、当年度の資金の増加額については644万6,490円であったということになります。

それから、次のページからは明細書でございますが、簡単にご説明申し上げます。

水道の37ページ、水道の収益、1、水道事業収益の中で、先ほど損益計算書でご説明した、その他営業収益は4目でございまして、各種の手数料と一般会計の負担金と、それから下水道、農業集落排水処理施設使用料の収納業務の受託によるものでございます。

営業外収益の主なものにつきましては、利息のほか、2目の雑収益、不用品の売却と、ボトルドウォーターの販売収益等でございます。

特別利益の内容は、長井ダムの建設負担金の還付でございます。

次のページは、費用の明細でございます。

1款の水道事業費用につきまして、1項の営業費用、1目は浄水及び配給水費でございまして、人件費2名分のほか、委託料が主なものとなってございまして、備考欄の下から2つ、水道事業ビジョン及びアセットマネジメント策定業務委託料、平山浄水場耐震詳細診断業務委託料の部分が皆増となっております。そのほかの大きなところは、修繕費と動力費となつてご

ざいます。

次のページ、3目の業務及び総係費につきましては、職員4名の人件費でございます。こちらは平成27年度、5名から1名分減っております。その分の人件費と、その他は電算関係の委託料が主なものとなっております。

42ページの4目減価償却費のそれぞれの種別の減価償却額の内訳につきましては、備考欄をごらんいただきたいというふうに思いますが、構築物、機械及び装置が主な内容となっております。

次のページの、水道43ページの特別損失の内訳につきましては、過年度損益修正損につきましては、冬期概算料金の精算にかかわるもの、それから平成27年度の国庫補助金の中に消費税相当分がありまして、その分を返還する。それから、その他特別損失は、長井ダムの建設負担金等の返還でございました。

次のページからは資本的収支の明細書でございますが、こちらはページ進んでいただきまして水道の45ページ、支出の1款資本的支出の1項建設改良費、1目事務費は、人件費2名分でございます。2目の配水施設整備費の中身につきましては、先ほど15ページにおいて説明をさせていただいております。3目の資産購入費につきましても、先ほど水道の18ページで説明させていただいております。

以上、平成28年度長井市水道事業特別会計決算についてご説明申し上げました。こちらは、よろしくご審査のほど、よろしく願います。

続きまして、議案のほうでございますが、議案の第68号 平成28年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご提案するものでございます。

先ほど損益計算書の中で、平成28年度の未処分利益剰余金が3億8,955万1,612円というふうに申し上げます。このうち2億円を減債積立

金として積み立て、さらに1億円を建設改良費積立金に積み立てるというものでございまして、残余の繰り越す額につきましては、次のページの表、横でごらんいただきたいのですが、処分後残高の一番下の行の一番右の欄、処分後の残高、未処分利益剰余金の繰り越す額につきましては8,955万1,612円となります。

これによりまして、減債積立金の残高は5,730万円でございますので、2億5,730万円となり、建設改良積立金の残高2,000万円でございますので、1億2,000万円となるというようなことでございます。

以上、議案第68号につきましてご説明させていただきました。よろしくご審査お願いいたします。

○小関秀一委員長 以上で概要の説明が終わりました。

ここで、昼食のため暫時休憩をいたします。再開は午後1時といたします。

午前 11時53分 休憩

午後 1時00分 再開

○小関秀一委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

なお、宇津木正紀委員並びに蒲生光男委員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

平成28年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○小関秀一委員長 それでは、質疑を行います。